

## 第6回 第5次羽咋市総合計画 審議会 会議録

日時 平成22年9月9日(木) 19時～21時

場所 羽咋市役所 4階 401会議室

出席者 各審議会委員(欠席者 大橋委員、高見委員、福田委員、山田委員)

アドバイザー 金沢大学 神谷教授

市側出席者

[事務局]

企画財政課長 岸 博一

企画財政課総括主幹 川口 哲治

企画財政課主幹 松田 秀治

企画財政課主任 中村 仁志

[審議事項関係課]

建設課長 浅野 弘喜

上下水道課長 井上 正信

建設課総括主幹 木津 雅之

会議傍聴者 なし

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

(略)

### 3. 第5回会議録の確認について

### 4. 会議傍聴者について

### 5. 審議事項

#### (1) 「公園・緑地」「交通環境」「住宅」「都市計画」について

建設課長より説明の後審議

【委員】

・住宅のところだが、雇用促進住宅や市営、県営の公的住宅の入居率はどうか。

**【建設課長】**

- ・雇用促進住宅は今年度末に市へ管理が移行する予定。御坊山は、80戸のうち48戸が入居。島出は、60戸のうち13戸が入居。また、空家については、雇用能力開発機構が修繕し、今年度末に終了する予定である。
- ・市営ひばりが丘住宅は老朽化が進んでおり、33戸あるうち入居していない空家から順次取り壊している。現在15戸が取り壊され、残り18戸を残し、入居は15戸程度ある。
- ・市営松ヶ丘住宅も、老朽化が進んでおり、現在2戸空いているが、入居の募集は実施していない。
- ・市営はまなす団地は待機数0人で、すべて埋まっている状況。

**【委員】**

- ・ニーズはあるのか。

**【建設課長】**

- ・問い合わせはよくある。

**【委員】**

- ・雇用促進住宅の譲渡を受けるということだが、金銭面で話を詰めて契約したのか。

**【建設課長】**

- ・二度の不動産鑑定の結果、2団地でおおむね7千万円の評価になったので、この価格で購入する予定である。契約は今後する予定である。

**【委員】**

- ・雇用・能力開発機構で、空室のところは調査して手を入れるということだが、市は確認しないまま契約するのか。後になってリフォームが新たに必要になるという事態にならないか。

**【建設課長】**

- ・雇用・能力開発機構と市と合同で調査をして、修繕すべきところは修繕するという方向で話を進めている。修繕が完了が年度末になるので、その後に同機構と合同で確認をし引渡しを受け、市の管理運営は新年度からとなる。

### 【委員】

- ・質問が3つ。
- ・1つは、るんるんバスの利用者が減っているとあるが、その原因と対策は。
- ・1つは、「住まいづくり奨励金交付事業」と「耐震住宅リフォーム支援事業」の予算はどれくらいか。
- ・1つは、「中心市街地の人口」の平成22年度目標値では1万人となっているが、平成20年度では1万人を切っていて減少している。この見込みを立てた時の状況と現状はどのようなものか。
- ・資料として、「羽咋市景観形成ガイドライン」と「羽咋市都市計画マスタープラン」を頂きたい。

### 【企画財政課長】

- ・るんるんバスについては所管が健康福祉課で、担当が出席していないので代わりに説明する。
- ・るんるんバスは4月から見直しをかけた。乗客が少ない状況もあり、運行時間帯が悪いと判断したため変更した。2台で回しているが、ルートによって1日おきだったり、毎日運行だったりする。
- ・行財政改革で以前100円だった運賃を200円に上げたことがあったが、昨年度から100円に戻した。料金と運行時間帯が原因で利用者が減ったのかなと考えている。

### 【建設課長】

- ・「住まいづくり奨励金交付事業」は予算300万円で5件を見込んでいる。また、「耐震住宅リフォーム支援事業」は予算60万円で1件見込んでいる。
- ・「住まいづくり奨励金交付事業」は平成18年度から平成21年度までの間、300万～500万円の数字で推移している。年平均400万円程度になる。
- ・「羽咋市景観形成ガイドライン」は冊子があるし、ホームページから印刷することもできる。ただ、「羽咋市都市計画マスタープラン」については製本したものが少なく閲覧することはできるが、出せるかどうか確認してみる。

### 【企画財政課長】

- ・審議委員の皆さんから頂きたい提言の類として次のようなものがあげられる。
- ・公園で言えば、『市に公園が足りているのかどうか。公園の管理がいきとどいているのかどうか。農村公園はもっと有効利用したほうがいいのではないか。』
- ・交通で言えば、『道路は十分かどうか。このようなところに道路があつたらいいのではないか。』

・住宅で言えば、『民間のアパートが建ってきているので、市が住宅を持つ必要がないのではないかな。それとも市が低所得者向けに、定住促進を促すためにも持つ必要があるのではないかな。』

・都市計画で言えば、『まちづくりをどうしていったらよいか。国道 415 号石野町界隈が近年いろいろな建物が建ってきているが、無造作ではないかな。ゾーニングをもう少し考えて、住宅地や遊び場などコンセプトをつくるべきではないかな。』など。

#### 【建設課長】

・中心市街地の人口減少についてだが、1 万人は目標値であって、近年の少子高齢化の影響を受けて減少していると思われる。また、金沢など都市部への人口流出もある。減少を食い止めるために、建設課としては都市計画、道路、住宅環境整備を進めているところだが、決め手がないのが現状。他のまちづくり施策と連携が必要である。

#### 【アドバイザー】

・人口が減っている時には、住宅がないといけないのではないかな。公園も重要ではないかな。道路は企業誘致には必要ではないかな。そのような観点からも審議委員から提言頂ければよいのではないかな。

#### 【委員】

・公園緑地についてだが、松くい虫の防除を実施したとあった。近年アメリカからの外来種である害虫アメリカシロヒトリが、柿の木を中心に、緑の野菜に多く見受けられる。本格的に駆除に乗り出す必要があるのではないかな。松くい虫に匹敵する虫であり、今後 10 年の計画に駆除を盛り込んでもらいたい。

・公園の「ブランコやスベリ台など遊戯施設の更新を行い、公園の整備促進を図った」とあったが、老朽化している大型遊具などの保守点検はなされているのかどうか。

#### 【建設課長】

・アメリカシロヒトリだが、羽咋市、宝達志水町で発生しているとの新聞報道があったところ。建設課や農林水産課にも電話が入ってきている。人には何ら害がない虫だが、食害がひどい。木一本、すべての葉が被害を受けるというもの。年に 2、3 回発生するので、その度に市全体を消毒できるかという、難しい面がある。

・市町村によっては、消毒をやめて捕捉して殺すことで対応しているところも

あると聞いている。消毒ありきでなくて、そのような方向で対応するという方法もある。

- ・大型遊具だが、保守点検を含めて維持管理をしている。
- ・スベリ台だが、眉丈台地にある人工芝のゲレンデが傷んでいたもので、ほぼ全面的に今年度に改修した。
- ・ブランコ、スベリ台などは老朽化がひどいところから、順次更新している。

#### 【副会長】

・公園緑地で、「市民ボランティアの方など・・・花苗などの取り組みが行われ」とあるが、現状は心ある人たちでほそぼそと行っている。行政でなくて市全体で市民の力を活かしたチームで動いていくのも一つのやり方でないか。グループというのは何かできているのか。

#### 【建設課長】

- ・市民ボランティアは、少人数もあるし、JAのような組織もある。JAからは邑知の郷公園が近いので、展示会を開催する時に駐車場として利用の依頼を受ける。その代わりではないが、草刈りの申し出があり、職員総出のボランティアとして草刈りをしてもらっている。
- ・邑知の郷公園は、多目的広場がある。子どものサッカーで使いたいとか、グランドゴルフで利用したいという話があれば草を刈ることを条件に利用してもらっている。
- ・邑知の郷公園は、かなり広くて職員で維持管理を行っているが、追いつかないこともある。公園は通常使用料が発生するが、ボランティアで草刈りなど実施してもらえる場合は免除している。

#### 【企画財政課長】

- ・公園の管理について補足する。
- ・眉丈台地については、体育振興事業団に管理委託されているが、さらに利用者へ委託されている。グランドゴルフ協会、サッカー協会といった利用者を実質的に委託されている。
- ・他の公園は町会に委託されている。
- ・邑知の郷公園については、邑知地区のまちづくり協議会、グランドゴルフ協会、市民塾などに管理してもらっている。
- ・これまでだと直営ありきだったが、政府のいう「新たな公共」という考え方があるように自分たちで利用するものは、自分たちで管理をしていくといった形も今後10年で考えてく必要がある。

### 【委員】

- ・公園など研究していて、ヨーロッパは公園に関しては先進国だと言われているが、公園にならざるをえなかったところが公園になっているだけという結論に達した。日本は自然が豊かなところだから、公園にならなかつただけ。羽咋は、過剰に公園は必要なく千里浜で十分ではないか。
- ・知人より提案を受けた。①釣り場をつくる。②海上公園の造成③自転車道路活用の再検討。

### 【委員】

- ・若い頃、文化会館、体育館に勤めた経験上、気になっているのが、文化会館前の噴水と体育館の暖房器具が機能していないこと。体育館の前に 250m の公園があるが、その枝葉が垂れていて、走れるコースの邪魔をしていることがある。過去体育課があった時に、枝を切っていいかどうか訊ねたところ、管轄が建設課かどこか別の課だということで切ることができなかった。何年かして体育課がなくなった頃に同じことを訊ねたところ、切ってもよいとのことだった。ウォーミングアップする時や駅伝の練習にも使用していたりするので、大事なこと。市民は同じ市役所だと思っているので、課が違うからというのはよくないのではないか。

### 【委員】

- ・眉丈台地では、サッカーの UFO 杯が開催されたりすると、テントが 30~40 くらい並び壮観。ただ、今年のように暑い日が続くと熱中症などの万が一の場合の対応が気になるところ。店がないので、道路を挟んで向かいの八幡に横断したりしているのを見ると危険だなと思う。
- ・ボランティアで草刈りをしてもらっている場合に、草を刈る場所で問題になったりしたことがあったと聞く。完全にボランティアに任せるとそのような問題も生じる恐れがあるので、行政も関わるような配慮は必要だと思う。
- ・体育課がなくなり、専門の職員がいない。手薄だと思う。昔は草を刈るときも 3 名程度職員が来ていた。すべてボランティアというのは一考を要する。
- ・施設の老朽化による危険を回避するためにも、ある程度職員が関わるのが大事ではないか。
- ・眉丈台地のホクリクサンショウウオの増殖池があるが、羽咋の貴重な財産。越路野小学校にもあったが、今は廃校になり荒地になっている。朱鷺の生息地でもあったので、公園・緑地の整備というのは施策の一つとして盛り込んだらどうか。

### 【委員】

- ・羽咋で言えば眉丈台地が最も大きな公園になるが、親子づれはあまりみたことがない。七尾や内灘の魅力ある楽しい公園に行ってしまう。三世代交流ができる公園が必要ではないか。
- ・邑知の郷公園だが、今年のように暑い夏だったりすると木陰がないなど公園としての役目を果たせていないと思う。東屋や木の整備をボランティアと協働で進めているようだが、子どもが外で元気に活動できる公園の整備をお願いしたい。

### 【委員】

- ・自然をもっと活用したらどうかと思う。千里浜は車が走れる。釜屋から一ノ宮にかけては例えば馬やロバに乗れる。滝にはヨットがある。柴垣ではカキが採れる。今ある自然を活用してできることを探してはどうか。

### 【委員】

- ・特急サンダーバードが停まる駅は、金沢、七尾、羽咋だけ。観光にとっては大きなバックボーンだと考えている。ただ駅の立地条件として、下がったところに位置していて非常に閉塞的な印象を受ける。観光にはふさわしくないなど日ごろから感じていた。羽咋の魅力は何かと言えば、海。海岸とつながるような駅というような発想はどうだろうか。少子高齢化で子どもに対する施策ももちろん重要だが、羽咋は観光で活気あるまちになっていったらどうかと思う。

### 【委員】

- ・市全体が公園のようなものなので、公園はもういらぬのではないか。
- ・それよりも公園はいかに使うかが大事だと思う。近くに中央公園があるが、祭りの時しか使っていない。若い人が夜遅くまでローラースケートをやっているし、照明が暗い。公園の照明は商店街の会員で水銀灯を5本設置している。年間3万5千円の電気代を負担している。通りの照明は50基で年間30~40万円の電気代が掛かっている。一基のポール代が25万円。暗いから商店街が照明を設置しなければならないのか。設置してあるから行政がつけなくてよいのか。まちの真ん中の公園なので明るくしてほしい。そうすれば、ローラースケートも夜遅くまでなくなるのではないか。

### 【委員】

- ・中心市街地の指標が羽咋、千里浜地区をベースにしているが、現状は中心が移っているにも関わらず未だに統計の中心としているのは問題ではないか。

・道の駅や海浜公園など羽咋の今後 10 年のゾーニングを改めてすべきではないか。そういう意味で都市計画マスタープランの資料があるというのでほしいといった。

#### 【委員】

- ・パセオ通りを整備する際のプランでは、南ヨーロッパ風に統一して商店街を整備すれば年間 100 万人の千里浜への観光客を商店街に呼び込めるといった楽観的なものだった。しかし、実際は閑古鳥が鳴いている。外部のものが立派なプランだけつくって終りというだけで、本腰を入れて取り組まないと駄目だ。
- ・羽咋は米作りも繊維も廃れた。残るはパチンコか介護だ。介護は市の負担が増えるだけといった意見もあるが、有望だと思っている。
- ・市内は、細い道路なども残っている。火事があったら大変だ。本腰を入れて都市計画を見直す必要がある。

#### 【委員】

- ・公園だが、市内に親子で行きたくなるような魅力ある公園はないように思う。中央公園は車では行けない。邑知の郷公園は、遊具がない。車が乗り入れできて、遊具があるような公園があれば交流ができると思う。まちの中心が移ったというのであれば、その界限でまだ十分に場所があると思うので、そちらで設けてほしい。
- ・るんるんバスだが、利用数を確認したということだが、ニーズは確認したか。

#### 【企画財政課長】

- ・所管は健康福祉課だが、ニーズは町会を通じてバス停の場所がどこに必要ななど意見をお聞きしているとのこと。他に公共交通機関についての会議を開き、各種団体から意見を頂き、ルートを決めていると聞いている。

#### 【委員】

- ・るんるんバスだが、そもそも既存のバス路線が廃止された空白地帯を穴埋めするために走らせたもの。車両が 2 台のため、タイヤが余喜コース以外は一日置きになっている。乗りたくても乗れないのが現状。
- ・高齢者など免許がない交通弱者のための公共交通であるので、毎日運行にして充実させてほしい。そのためには、経費はかかるが 1 台増やし最低でも一日 3 便運行する。利用者が減ったとのことだが、減るのは必然なこと。
- ・利用者数が年間 5 万 9 千人だが 1 日あたり約 160 人。これらのほとんどは毎日運行されている余喜コースに集中しているのではないか。



・例えば、病院に行く高齢者を想定するならば10時過ぎくらいに到着し、昼過ぎくらいに帰るようなダイヤを組む。利便性のあるダイヤを組まなければ利用者は増えない。

#### 【委員】

・都市計画の見直しが大事ではないか。昔中心市街地に人口が多く、都市機能が集中していたが、土地の価格が高いなどの理由からか、郊外へ広がり今の形になったと思う。薄っぺらいまちになった印象を受ける。ゾーニングを見直し、都市機能の集約を考え直すべきではないか。

・住宅にしても公共機関にしても集約することで効率的になる。中心市街地は空いている状況。今は実施しやすい時期にあると思うので、都市機能の再集約を目指したらどうか。付加価値が高まれば、住宅のニーズも高まる。そのような施策が必要かと思われる。

#### 【委員】

・近年は少子化が進み核家族が増えている。子どもにすると家族が多いほうが嬉しい。家庭で社会性が養われる。二世帯住宅に補助金を出して推進するという施策はどうか。スプの冷めない距離というのは、3世代交流には大事だと思う。

・市営住宅の今後はどうしていくのか。老朽化で取り壊した後の土地に二世帯住宅を増やしていくというのはどうか。

#### 【委員】

・市営住宅入居待機者数が少ないということならば、公営住宅のニーズがないのではないか。住宅整備はお金がかかることであり、費用対効果から考えると十分に吟味する必要がある。

・二世帯住宅の補助金は賛成だが、二世帯住宅を公営住宅で建てるというのはどうだろうか。羽咋は借家が充足しているように思う。ニーズを把握してから整備する必要があるだろう。

・公園だが、邑知の郷公園の貸農園を借りている。都会からすると考えられないくらい安価で借りることができ、楽しんでいる。このような方法も有効な活用法の一つだ。

・将来に向けた公園づくりをする際には、構想をホームページなどで公表するなどして計画的な公園整備を進めてほしい。

・公園の活用方法だが、サッカーなどイベントに積極的に活用したり、観光資源として活用したりといった方法を検討していったらほしい。

### 【会長】

・冬場の道路の除雪の優先順位として①食糧運搬のための道路②救急、消防車両が通るための道路③子どもの通学路となっている。このような観点も含めて交通環境について提言頂きたい。

### 【委員】

・駅のバリアフリーについて、羽咋駅は陸橋が車椅子用に整備がされている。しかし、千路駅と南羽咋駅の二つの無人駅があるが、ホームと電車のステップとの間に約 30 c m の段差がある。車椅子には適していない。段差解消に向けた整備をお願いしたい。

・バス交通だが、七尾―羽咋間が 1 時間ごとに走っているので、四柳から羽咋まで利用できる。また 249 号線に沿って富来―羽咋間が 1 時間半ごとに走っている。羽咋中学校の生徒輸送も兼ねている。その他は赤字路線で廃止されてしまったが、栗ノ保地区、邑知地区を走る路線があった。その穴埋めをしているのが、るんるんバス。これは町会を網羅するため、急ぎの用には適さない。行きはいいが、帰りの足がないので、結局自家用車を頼むかハイヤーに乗って帰る。るんるんバスは 1 日最低 2 ないし、3 便を確保して毎日運行にしてほしい。さもなくば公共の役割を果たせなくなる。

## (2) 「下水道」「上水道」について

### 上下水道課長の説明後審議

### 【アドバイザー】

・上下水道の整備について、人口は増えないので新しいニーズはないものと思われる。現状の水準をいかに維持するかが今後 10 年の課題になるだろう。安価でかつ水質を維持し、下水処理を適切に行っていくことが鍵になる。

### 【会長】

・上水道に関しては、大阪府知事が府と市の水道事業を 1 本化することに言及していたが、諸経費の削減という観点から述べられたもの。羽咋の水道事業においても経営効率化は一つのテーマであり、このような観点も踏まえて提言頂きたい。

### 【委員】

・基本料金 8 m<sup>3</sup>となっているが、自分は一人暮らしでいつも 2 m<sup>3</sup>しか使ってい

ない。基本料金は4人家族をモデルにしているのではないか。1人暮らしに配慮も頂ければと思う。

**【委員】**

・下水道の接続率ができれば100%に近づけばいいと思う。整備が進んでいるとのことなので、高齢化で接続できないとかという理由であれば、補助を出すなり行政で取り組むなりして、せつかくあるものを利用するように進めていってほしい。

**【委員】**

・下水道の工事は、千代町が最後だった。下水道の整備はできているものの、利用者が接続するのにお金がかかるということで接続していないという問題がある。それまでの簡易水洗で済ませてしまっていて、接続するまで至っていない方が大勢いる。

・接続率を上げれば、羽咋川の水質の問題も良くなるだろう。高齢者にとってお金がかかるというのであれば助成なりしてもっと普及を進めていく必要がある。せつかく整備しても環境改善に結び付かない。

**【委員】**

・上水道の民間委託の推進とあるが、他の自治体であつたりするようだが、一つの業者に我々の飲み水を左右するような事業の全てを委託してしまうのは危険ではないか。アメリカの民間委託の事例で年々料金が高騰したという話も聞く。

・経費削減も大事だが、水は大切なものなので、一部だけ民間委託といったような形態がよいのではないだろうか。

**【委員】**

・上水道の営業収支比率はもう10年で100%を切るだろう。有収率が約90%と他と比較しても相当高いのではないか。営業収支比率を助けていると思うが、有収率を上げるのは困難だろう。営業収支は今後悪くなるものと思われる。

・水道は止めることができないので、営業努力も必要だが、水道料金の値上げも必要だろう。恒常的に定期的に検討する委員会などを開催していくことを検討してはどうか。

・下水道だが、整備するのに相当な費用が掛かっている。利用者に負担をしてもらう必要がある。接続率を上げていってもらいたい。

・下水道の利用が上がらなければ、将来は税負担になってしまう。そうである

ならば合併浄化槽を推進し、入りやすくして利用料金も安くする。そのような方策を考えてほしい。

**【委員】**

- ・松くい虫の除去ということで市役所から町会へ薬が配られた。草刈りの場合も除草剤や殺虫剤など配られていたが、そこまでするのかという印象。50年たったらどうなるかわからない。
- ・下水道でも同じ。今の事業が50年経過したらどうなるかわからない。
- ・下水道に接続するのに30万円掛かるとのことだったが、負担が重く感じた。

**6. 次回会議について**

**【事務局】**

- ・第7回 9月21日（火） 19時から

**7. その他**

なし

**8. 閉会**